



学校だより 神橋

平成27年 10月30日
横浜市立神橋小学校
11月号

教諭 西岡 慶

11月となり、前期のまとめが終わり、いよいよ後期が始まりました。

読書の秋、運動の秋、食欲の秋、実りの秋…。秋にはいろいろな秋がありますが、保護者・地域の皆様は、どのような秋をお過ごしでしょうか？

私は、神橋小学校に来て2年目となりますが、昨年買ったスーツのウエスト部分が少々苦しくなってきました。これもきっと食欲の秋？だからでしょうか。

唐突ではありますが、自己紹介を兼ねまして、どのような少年時代を過ごしてきたのかを書かせていただきたいと思います。私は、広島県の呉市(くれし)というところで生まれ、18年間そこで育ちました。造船業が盛んな町として栄えてきたようですが、海と山に囲まれた非常に自然が豊かなところです。私の祖父も造船業に携わっており、たくさん船を設計していたそうです。他にも、戦艦大和をモチーフとした、大和ミュージアム等があることでご存じの方もいらっしゃるのではないかと思います。その自然豊かな地、呉市で育った私は、ゲームをして遊ぶことよりも、外で体を動かして遊ぶことが大好きな少年でした。

学校が終わると家まで徒歩15分の坂道を猛ダッシュで5分で駆け上がり、ランドセルを家に置くと3分でその坂を駆け下りて、毎日学校へ行っては、野球をしたりバスケットボールをしたり、ドッジボールをしたりと、とにかく友達と一緒に外で遊ぶことが大好きでした。そのような生活をほぼ毎日続けていたので、教科書やノートの角がランドセルの中で削れていき、次第に教科書が丸に近づいていくほどでした。

子どもは、遊びの中から多くのことを学びます。むしろ遊びの中でしか学ぶことのできないこともたくさんあります。子どもは遊びを通して、ルールの大切さや人間関係の作り方を経験的に学びます。友達と一緒に遊ぶ時間は、社会に出ていく準備をしている大切な期間なのではないでしょうか。子どもの頃はそんなことを考えず、ただ単純に楽しいから遊んでいたのですが、大人になると遊ぶ時間というものに限られてしまいます。だからこそ勉強からだけでは得ることのできない友達関係や、ルールの大切さ等を、遊びを通してたくさん学んでほしいと思います。友達とけんかになれば謝り方を学び、絆を深めていく、これは、家でゲームをしていては得ることが難しい力です。現代は、ゲームやインターネット・携帯電話と、昔に比べ多くの遊びのツールがありますが、友達と遊ぶ時間を大切にしてほしいと思います。

4・5組では、休み時間は担任もできるだけ子どもと遊ぶようにしています。遊びの中で、けんかが起きてしまうこともありますが、その中からいろいろなことを学んでほしいと願っているからです。

今年の秋は自分も食欲の秋より遊びの秋、子どもたちと一緒に遊びを通して、多くのことを学んでいきたいと思っています。